



# さかえ

令和2年  
**12月号**  
第445号

発行/栄村役場



## ～県道箕作飯山線 明石大橋開通式～

去る11月9日(月)に阿部長野県知事はじめ大勢のご来賓にお越しいただき、県道箕作飯山線改良期成同盟会主催の明石大橋開通式が挙行されました。

このことにより、本同盟会の60年にわたる要望が実現することになりました。

## 主な内容

- 新型コロナ及び季節性インフルエンザへの備え……P 2－3
- さかえ倶楽部スキー場オープンについて……P 4
- 令和2年度栄村表彰式についてほか……P 5
- 道路除雪に関するお知らせ……P 7
- 各種お知らせ……P 8－9
- 希少動植物調査員からの報告……P 10
- 連載記事（保健だよりほか）……P 11－12

















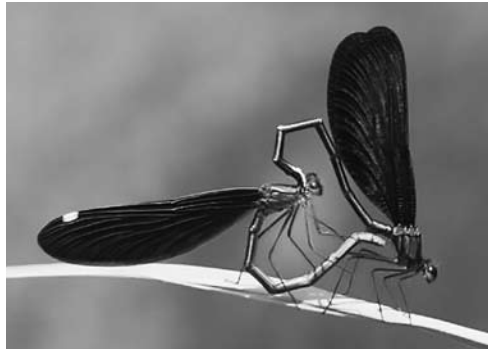






# 栄村、すげいぜー!

## 希少動植物調査員からの報告④



栄村初記録となったアオハダトンボ（右み、左♀）。（環境省・長野県ともに準絶滅危惧種）



身近なチョウでありながら、全国的な減少が著しいミヤマカラスアゲハ（♀）。

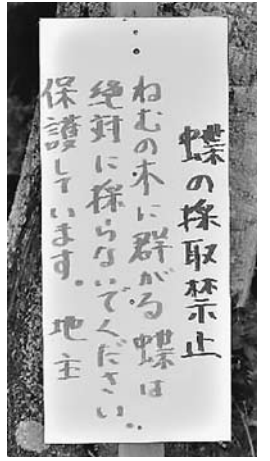
ギフチョウの保護を考えるために始まった私たちの活動は、降雪期を迎え現地調査はひとまず終了し、調査結果のまとめに入りました。ギフチョウやその食草に関する調査は主に春季に行い、その後はギフチョウと関連しながら、他のチョウ類やトンボ類、水生昆虫などの調査を中心に行いました。そして、見つけた希少な動植物を片っ端から記録してきました。山の中だけでなく川原や、民家の軒先の『タネ』と言われる小さな池の中の植物まで、実際に村内各地を歩き、できるだけ多くの場所を調べることに努めました。その中で、全国的にも希少になった動植物に数多く出会うことができました。そして、私たちが今感じることがは、

「栄村、すげいぜー!」  
チョウ類は、栄村ではこれまでに一〇六種が記録されています。本年度の調査では、八〇種を確認しました。その中にはムモンアカシジミなど、栄村初記録のチョウ類が六種見つかかり、これまでの記録と合わせて一一二種となりました。  
現在長野県で記録されているチョウ類は、およそ一五〇種ですから、栄村は長野県で生息するチョウ類の七割以上が見られることになりました。これだけでも、「栄村、すげいぜー!」。

ボが七種含まれ、これまでの記録と合わせると六五種となりました。  
チョウ類もトンボ類も、「豊かな自然を表すバロメーター（ものさし）」とよく言われます。そうした生き物は、その地域の植物の様子（植生）や水辺の環境の状態によって、種類や個体数が大きく変動するからです。  
例えば、昨年公表された環境省の『モニタリング一〇〇〇事業』の結果報告によると、約一〇年の全国の里地の調査で、身近なチョウ類の約四割が急激に減少していることが報告されました。特にミヤマカラスアゲハは、年間三二・四%という高率で減少していることが明らかになりました。このチョウは、現在まだ村内では広く身近に見られるチョウです。もちろん絶滅危惧種といった希少種にも指定されてはいません。しかし、この例が示すように、環境の変化や里山の荒廃、また外来生物の侵入、イノシシなど大型獣の分布拡大等により、身近な動植物がどんどん減っているのです。

### 栄村、今がチャンス!

本年度の調査活動の途中、ある集落で写真のような看板を見つけました。ここは、チョウマニアの採集地紹介本にも載っている場所です。そうした採集マニアからチョウを守りたいと、地元の人が看板を立ててくださったようです。他地域でもこうした看板を見つけました。地域の皆さんの「身近な動植物を大切にしていきたい。」という思いが、具体的な行動となって現れてきているのだと思います。  
多様な生き物が棲める環境は、言い換えれば、人にとっても暮らしやすい環境ともいえるでしょう。新型コロナウイルスの世界的流行という、私たちがこれまで経験したことのない状況下で、今までの価値観や自然との付き合い方が見直されていることは間違いありません。  
希少種も含め村内に今ある豊かな自然を、大事な栄村の資源としてどのように次世代に残し、さらに地域の継続的な活性化につなげていくか、今まさに考え、行動につなげるチャンスなのでしょう。小さな子どもからお年寄りまでみんなが、栄村の自然とそこで暮らすことに自信と誇りをもって、「栄村、すげいぜー!」と発信していきたいものです。  
これまでご協力いただいた大勢の皆様、厚くお礼を申し上げます。  
（希少動植物調査員・涌井泰二）













# 今日の栄っ子

## Vol.45 栄中学校 ～身も心もほっこりタイム?!～

11月13日(金)の栄タイムは、清掃ボランティア委員会企画の栄中学校産の焼き芋会でした。例年は老人クラブの方々をお招きして焼き芋交流会を行っていますが、今年はコロナウイルス感染症拡大防止対策のため残念ながら栄中生のみでした。

10月下旬にちゃんと実がなっているか心配しながら全校生徒でサツマイモ掘りをし、無事に収穫できたサツマイモ。「サツマイモって普段食べる機会はたくさんありますが、自分たちで育てて収穫したサツマイモはまた格別で、さらに朝からみんなで芋をあらってアルミホイルに包んで焼き芋にするとなんてあんなにおいしいんでしょうね (生徒談)」

コロナウイルス感染症や厳しい冬が近づくなど、明るい話題もない毎日ですが、ちょっとほっこりしたひとときに心もお腹もいっぱい満たされた生徒・職員でした。(文責：栄中学校 森)



### 作品名 「第43回桐の葉祭 ステージバック」

今年度の桐の葉祭テーマ「Sakae Heart ～未来につなげよう栄魂～」をもとに、全校生徒が協力して製作しました。デザインのついでである手形は全校生徒(+職員)が桐の葉祭の成功を願って押しました。また、下の方にある小さいハートは桐の葉祭当日の生徒会企画で校舎にちりばめられたハートの破片を、チーム毎に協力して集め、完成させたものです。

